

令和5年2月27日	
資料提供	
担当課	経営支援課
担当者	古宮、熊崎
直通	073-441-2883

## 令和4年度（第32回）和歌山県農業教育賞 受賞校伝達式

### 1 受賞校伝達式

最優秀賞 日時 令和5年3月3日（金）14:20～14:35  
 場所 日高川町立笠松小学校  
 伝達（最優秀賞） 小川 純生（和歌山県農業協同組合中央会常務理事）  
 （知事賞） 中井 寛（日高振興局長）  
 講評 小林 民憲（和歌山大学教育学部名誉教授）  
 ※優秀賞・奨励賞 各学校において実施

### 2 和歌山県農業教育賞とは

和歌山県農業教育賞は、県内各地の小・中学校等の児童・生徒が農業の実習体験や学習などを通じて自然や生命の大切さを育む食育活動（食農教育）を実践している小・中学校等を募集・表彰する。

### 3 審査結果

賞	受賞校	概要
最優秀賞 （知事賞）	日高川町立笠松小学校 （校長 高垣 利加）	3～6年生5人が運動場の端約24.5㎡を開墾し、畑の面積を2倍に。児童自ら調べた安心安全や循環をテーマに様々な工夫を凝らしながら、全校で「つくる・育てる・食べる」の一連の畑活動を実施。
優秀賞 （教育委員会 教育長賞）	有田川町立小川小学校 （校長 林 寿和）	全校では地域の方と連携してサツマイモと景観植物を栽培するとともに、全校焼き芋大会も実施。加えて、各学年でも野菜の栽培・収穫・調理や調べ学習を積極的に取り組んだ。
奨励賞	和歌山市立楠見小学校 （校長 梶本 久子）	5年時は、児童たちが花壇等をゼロから開墾した畑で野菜を作り、収穫した野菜の販売に挑戦した。今年度は調理や加工品作りも行い、2年間にわたり、自発的な食農活動がなされた。
	新宮市立高田小中学校 （校長 山本 健司）	小中縦割り班で責任を持たせ、教え合いながら生徒中心の米作りを実施。機械作業以外は、粃浸種や糠散布なども子どもたちで取り組み、当事者意識が高い学習活動を行った。

### 4 主催・共催等

主催 和歌山県、和歌山県農業協同組合中央会  
 共催 和歌山県教育委員会  
 後援 朝日新聞和歌山総局、毎日新聞和歌山支局、読売新聞和歌山支局、  
 産経新聞社、NHK和歌山放送局、テレビ和歌山、和歌山放送、  
 JAグループ和歌山

詳細に関するお問い合わせ先：和歌山県農業教育賞事務局  
 和歌山県農業協同組合中央会総合企画部 TEL 073-488-5515

※ご取材いただける際は、上記のお問合せ窓口にご一報いただきますようお願いいたします。